

授業 科目名	科学論 (Natural and Applied Sciences)	選択：	2 単位 30 時間	担当教員名: 大西 仁 (非常勤講師室)
		全学科専攻 1～4 年	コード:LAB110	
〔DP〕 生涯にわたる探究心と自己研鑽, 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本科目では、社会に大きな影響を与える科学技術に関する様々な話題を通して、マスコミ報道される科学技術の話題を深読みできるようになること、疑問に思ったことを自ら調べる習慣を身に着けることを目標とする。				
〔授業の概要〕 理科系科目で学習する知識を前提とせず、一般に関心を集めている科学技術や社会問題に関する話題に関連する技術に関して科学の観点から解説する。また、毎回の授業のはじめに一般向けに報道されている、最新の科学技術の成果について紹介する。				
キーワード：自然科学、科学技術、生命、環境、ロボット、情報、知能				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ ー マ	内 容	
第 1 回	4/12	自然科学とは	科目全体および履修方法の説明	
第 2 回	4/19	生命と環境 1	生物間相互作用	
第 3 回	4/26	生命と環境 2	生物間の化学的情報通信	
第 4 回	5/10	生命と環境 3	遺伝子の水平伝播	
第 5 回	5/17	生命と環境 4	環境問題と環境対策技術	
第 6 回	5/24	生命と環境 5	再生医療	
第 7 回	5/31	ロボット 1	ロボット概論	
第 8 回	6/7	ロボット 2	アクチュエータ	
第 9 回	6/14	ロボット 3	センサー	
第 10 回	6/21	ロボット 4	機構とマイクロマシン	
第 11 回	6/28	ロボット 5	制御	
第 12 回	7/5	知能と情報 1	人工知能とデータサイエンス 1	
第 13 回	7/12	知能と情報 2	人工知能とデータサイエンス 2	
第 14 回	7/19	知能と情報 3	人工知能とデータサイエンス 3	
第 15 回	7/26	諸々の話題	諸々の話題	
履修条件	指定なし			
予習・復習	予習：新聞やテレビ等のメディアによる科学技術に関する報道をチェックする 復習：講義で取り上げたトピックのうち興味のある部分に関してインターネット等を利用して調べる			
テキスト	指定なし			
参考書・参考資料等	指定なし			
学生に対する評価	各回の提出物 30%、学期末レポート 70%			

授業 科目名	環境変化と生態 Environmental Change and Ecology	履修年次: 1～4年	単位数: 2単位30時間	担当教員名: 栗田 和紀 (研究室: 図書館棟6)
		選択: 看・栄・歯・理・作	コード: LAB111	
〔DP〕VII 生涯にわたる探求心と自己研鑽、III 実践に必要な知識、V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 「地球には、なぜ、たくさんの生き物がいるの?」という問いに、自分なりの答えを出せるようになることがこの授業の一番の目標である。具体的には次の3点をめざす。 1. 生物の「進化」と「多様性」について説明することができる 2. 多様な生物の間にある「つながり」を見つけることができる 3. 自然との関わり合いに関心を持ち、「多様な生物との共存」を考えることができる				
〔授業の概要〕 古来より人間は自然の中で暮らしてきた。自然が少なくなったと叫ばれる現代においても、私たちは自然の恩恵を得ながら生活している。それでは、身の周りの自然はどのように形成され、そして維持されているのだろうか。この授業では、人間を含む地球上のすべての生物を生み出した進化の基礎を学ぶ。そして、人間と自然の関わり合いについて考えることで、生物多様性の総合的な理解をめざす。 キーワード: 自然、科学、生命、進化、生物多様性、人間				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/1	生物の世界	授業のガイダンス、分類、学名、分類体系	
第2回	10/8	進化とその証拠	ダーウィン、『種の起原』、用不用説、自然選択説	
第3回	10/22	変異と遺伝	遺伝的変異、染色体、有性生殖、減数分裂、突然変異	
第4回	10/29	個体群とその特徴	成長曲線、競争、人口	
第5回	11/5	進化の過程	適応、自然選択、中立進化	
第6回	11/12	種と種分化	種概念、生殖隔離	
第7回	11/19	生き物との関わり	人間の暮らし、記事検索	
第8回	11/26	生物の多様性(1)	初期の生命、細菌、原生生物、ウイルス	
第9回	12/3	生物の多様性(2)	植物、菌類	
第10回	12/10	生物の多様性(3)	無脊椎動物	
第11回	12/17	生物の多様性(4)	脊椎動物	
第12回	1/7	生態系	群集、生態系	
第13回	1/14	人間と自然	ヒト、人間活動とその影響、生物多様性からの恩恵	
第14回	1/21	自然の探究	自然観察の方法、事例紹介	
第15回	1/28	まとめ	授業全体の振り返り	
履修条件	特になし			
予習・復習	復習重視。配布資料や復習問題を活用し、内容の理解を深めること。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配布する。			
参考書・参考資料等	関連図書・資料を適宜紹介する。			
学生に対する評価	定期試験(60%)、課題レポート(40%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	観察生物学入門 Guide to the Observational Biology	履修年次: 1 ~ 4年	単位数:	担当教員名: 栗田 和紀 (研究室: 図書館棟 6)
		選択: 看・栄・歯・理・作	2 単位 30 時間 コード: LAB112	
〔DP〕VII 生涯にわたる探求心と自己研鑽、III 実践に必要な知識、VI 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 身近な自然環境とそこに暮らす生物を観察することで、科学や生物学の基本となる次の資質・能力を養うことを目標とする。 1. 自然のありのままの姿を記録することができる 2. 疑問と向き合うことができるようになる 3. 自ら進んで周りの自然に目を向けることができる				
〔授業の概要〕 生物学の基本は「観察すること」にある。多様な生物を観察することで好奇心が刺激され、形やくらし方を見つめることで生命現象をより深く理解できるようになる。こうした観察には忍耐力が必要だ。しかし、観察する力や技術の応用範囲は生物学に留まらない。どこにどんな生き物がいて何をしているのか。身近な動植物を素材とし、集めた記録に基づいて生物の多様性や環境への適応について考える。 キーワード: 自然観察、植物、動物、分類、形態、生態				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/11	ガイダンス	履修の心得、受講に関する注意事項など	
第 2 回	4/18	自然観察	観察の手法、観察の道具、観察の材料	
第 3 回	4/25	植物の分類 1	学内で見られる植物の種類 (試料の準備)	
第 4 回	5/2	植物の分類 2	学内で見られる植物の種類 (データの記録)	
第 5 回	5/9	植物の形態 1	植物の体 (試料の準備)	
第 6 回	5/16	植物の形態 2	植物の体 (データの記録)	
第 7 回	5/23	植物の生態 1	植物の季節変化 (試料の準備)	
第 8 回	5/30	植物の生態 2	植物の季節変化 (データの記録)	
第 9 回	6/6	動物の分類 1	学内で見られる動物の種類 (試料の準備)	
第 10 回	6/13	動物の分類 2	学内で見られる動物の種類 (データの記録)	
第 11 回	6/20	動物の形態 1	動物の体 (試料の準備)	
第 12 回	6/27	動物の形態 2	動物の体 (データの記録)	
第 13 回	7/4	動物の生態 1	動物の季節変化 (試料の準備)	
第 14 回	7/11	動物の生態 2	動物の季節変化 (データの記録)	
第 15 回	7/18	まとめ	授業全体の振り返り	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習: 授業に参加するための事前準備をしておくこと。 復習: 普段から身近な自然に目を向けること。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配布する。			
参考書・参考資料等	関連図書・資料を適宜紹介する。			
学生に対する評価	課題レポート (60%)、授業への取り組み (40%) により総合的に評価する。			

授業 科目名	観察生物学入門 Guide to the Observational Biology	履修年次: 1 ~ 4年	単位数:	担当教員名: 栗田 和紀 (研究室: 図書館棟 6)
		選択: 看・栄・歯・理・作	2 単位 30 時間 コード: LAB112	
〔DP〕VII 生涯にわたる探求心と自己研鑽、III 実践に必要な知識、VI 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 身近な自然環境とそこに暮らす生物を観察することで、科学や生物学の基本となる次の資質・能力を養うことを目標とする。 1. 自然のありのままの姿を記録することができる 2. 疑問と向き合うことができるようになる 3. 自ら進んで周りの自然に目を向けることができる				
〔授業の概要〕 生物学の基本は「観察すること」にある。多様な生物を観察することで好奇心が刺激され、形やくらし方を見つめることで生命現象をより深く理解できるようになる。こうした観察には忍耐力が必要だ。しかし、観察する力や技術の応用範囲は生物学に留まらない。どこにどんな生き物がいて何をしているのか。身近な動植物を素材とし、集めた記録に基づいて生物の多様性や環境への適応について考える。 キーワード: 自然観察、植物、動物、分類、形態、生態				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	10/1	ガイダンス	履修の心得、受講に関する注意事項など	
第 2 回	10/8	自然観察	観察の手法、観察の道具、観察の材料	
第 3 回	10/22	植物の分類 1	学内で見られる植物の種類 (試料の準備)	
第 4 回	10/29	植物の分類 2	学内で見られる植物の種類 (データの記録)	
第 5 回	11/5	植物の形態 1	植物の体 (試料の準備)	
第 6 回	11/12	植物の形態 2	植物の体 (データの記録)	
第 7 回	11/19	植物の生態 1	植物の季節変化 (試料の準備)	
第 8 回	11/26	植物の生態 2	植物の季節変化 (データの記録)	
第 9 回	12/3	動物の分類 1	学内で見られる動物の種類 (試料の準備)	
第 10 回	12/10	動物の分類 2	学内で見られる動物の種類 (データの記録)	
第 11 回	12/17	動物の形態 1	動物の体 (試料の準備)	
第 12 回	1/7	動物の形態 2	動物の体 (データの記録)	
第 13 回	1/14	動物の生態 1	動物の季節変化 (試料の準備)	
第 14 回	1/21	動物の生態 2	動物の季節変化 (データの記録)	
第 15 回	1/28	まとめ	授業全体の振り返り	
履修条件	特になし			
予習・復習	予習: 授業に参加するための事前準備をしておくこと。 復習: 普段から身近な自然に目を向けること。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配布する。			
参考書・参考資料等	関連図書・資料を適宜紹介する。			
学生に対する評価	課題レポート (60%)、授業への取り組み (40%) により総合的に評価する。			

授業 科目名	生物学 Biology	履修年次: 1 ~ 4 年	単位数: 2 単位 30 時間	担当教員名: 栗田 和紀 (研究室: 図書館棟 6)
		必修: 歯 選択: 看・栄・理・作	コード: LAB113	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅶ 生涯にわたる探求心と自己研鑽、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 生物学の基礎的な内容を理解し、身近な生物学の話題について自ら考えを巡らすことができるように、この科目では次の3つをめざす。 1. 科学的な見方・考え方を身につける 2. ヒトの体のしくみ(構造と機能)が理解できる 3. 様々な視点から生命現象を考えられる				
〔授業の概要〕 私たちヒトとその他の生物の生命現象について基礎的な知識と考え方を学ぶ。知識をただ覚えるのではなく、知的好奇心に基づいた「理解する」姿勢を養っていく。そのために、様々な生物の生命現象を比べたり、先人が行った観察や実験を振り返ったりすることで、体のしくみをより深く考える。 ----- キーワード: 科学、人体、細胞、体内環境、生殖、遺伝				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ ー マ	内 容	
第 1 回	4/8	生物学の世界へ	授業のガイダンス、科学、観察、仮説、実験	
第 2 回	4/15	人体の構成	器官、組織、細胞、生体の化学組成、消化と吸収	
第 3 回	4/22	細胞と細胞小器官	細胞小器官、多細胞・単細胞生物、ウイルス	
第 4 回	5/13	細胞膜の性質	細胞膜の構造、半透性、能動輸送、浸透	
第 5 回	5/20	神経	恒常性の維持、刺激の受容、神経系、神経細胞	
第 6 回	5/27	細胞間のコミュニケーション	シグナル伝達、内分泌系、ホルモン	
第 7 回	6/3	酵素	化学反応、活性化エネルギー、触媒、基質特異性	
第 8 回	6/10	代謝(1)	同化、異化、ATP、外呼吸	
第 9 回	6/17	代謝(2)	内呼吸、糖の代謝	
第10回	6/24	生体防御	白血球、リンパ系、自然免疫、適応免疫	
第11回	7/1	細胞の増殖	細胞周期、細胞分裂、生殖	
第12回	7/8	発生と分化	受精、卵割、原腸形成、器官形成、ヒトの発生	
第13回	7/22	遺伝の仕組み	遺伝の規則性、染色体、遺伝子	
第14回	7/29	遺伝子とDNA	DNAの構造、転写、RNA、翻訳	
第15回	7/30	まとめ	授業全体の振り返り	
履修条件	特になし			
予習・復習	復習重視。配布資料や復習問題を活用し、内容の理解を深めること。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配布する。			
参考書・参考資料等	関連図書・資料を適宜紹介する。			
学生に対する評価	定期試験(60%) 課題レポート(40%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	生物学 Biology	履修年次: 1 ~ 4 年	単位数: 2 単位 30 時間	担当教員名: 栗田 和紀 (研究室: 図書館棟 6)
		必修: 歯 選択: 看・栄・理・作	コード: LAB113	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅶ 生涯にわたる探求心と自己研鑽、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 生物学の基礎的な内容を理解し、身近な生物学の話題について自ら考えを巡らすことができるように、この科目では次の3つをめざす。 1. 科学的な見方・考え方を身につける 2. ヒトの体のしくみ(構造と機能)が理解できる 3. 様々な視点から生命現象を考えられる				
〔授業の概要〕 私たちヒトとその他の生物の生命現象について基礎的な知識と考え方を学ぶ。知識をただ覚えるのではなく、知的好奇心に基づいた「理解する」姿勢を養っていく。そのために、様々な生物の生命現象を比べたり、先人が行った観察や実験を振り返ったりすることで、体のしくみをより深く考える。 ----- キーワード: 科学、人体、細胞、体内環境、生殖、遺伝				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ ー マ	内 容	
第 1 回	10/1	生物学の世界へ	授業のガイダンス、科学、観察、仮説、実験	
第 2 回	10/8	人体の構成	器官、組織、細胞、生体の化学組成、消化と吸収	
第 3 回	10/22	細胞と細胞小器官	細胞小器官、多細胞・単細胞生物、ウイルス	
第 4 回	10/29	細胞膜の性質	細胞膜の構造、半透性、能動輸送、浸透	
第 5 回	11/5	神経	恒常性の維持、刺激の受容、神経系、神経細胞	
第 6 回	11/12	細胞間のコミュニケーション	シグナル伝達、内分泌系、ホルモン	
第 7 回	11/19	酵素	化学反応、活性化エネルギー、触媒、基質特異性	
第 8 回	11/26	代謝(1)	同化、異化、ATP、外呼吸	
第 9 回	12/3	代謝(2)	内呼吸、糖の代謝	
第10回	12/10	生体防御	白血球、リンパ系、自然免疫、適応免疫	
第11回	12/17	細胞の増殖	細胞周期、細胞分裂、生殖	
第12回	1/7	発生と分化	受精、卵割、原腸形成、器官形成、ヒトの発生	
第13回	1/14	遺伝の仕組み	遺伝の規則性、染色体、遺伝子	
第14回	1/21	遺伝子とDNA	DNAの構造、転写、RNA、翻訳	
第15回	1/28	まとめ	授業全体の振り返り	
履修条件	特になし			
予習・復習	復習重視。配布資料や復習問題を活用し、内容の理解を深めること。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配布する。			
参考書・参考資料等	関連図書・資料を適宜紹介する。			
学生に対する評価	定期試験(60%) 課題レポート(40%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	物理学 (Physics)	必修：理・作	2単位 30時間	担当教員名： 大島 竜午 (非常勤講師室)
		選択：看・栄・歯	コード：LAB114	
〔DP〕 実践に必要な知識・ 多職種との協働・ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 種々の物理現象と、それを説明する物理学の法則について、学生が基礎的な知識を持つことを目標とする。さらに、保健医療分野の専門科目の学習の基礎になる物理学の諸分野についても理解できる。				
〔授業の概要〕 物理学の基礎を、力学、熱学、電磁気学という分野に分類し、それぞれ講義する。また、波動や原子・原子核、放射線についても簡単に議論する。それぞれの分野を学ぶとき、保健医療分野への応用についても触れる。				
キーワード：力学、電磁気学、熱学、原子、分子				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/11	ガイダンス	物理学のいろいろな分野の紹介	
第2回	4/18	力学(1)	力について、力のつり合い、作用と反作用	
第3回	4/25	力学(2)	運動、速度と加速度、運動方程式	
第4回	5/2	力学(3)	大きさや形のある物体の運動、回転、モーメント、トルク	
第5回	5/9	力学(4)	仕事とエネルギー	
第6回	5/16	力学(5)	気体や液体の運動	
第7回	5/23	熱と物質の状態	熱と温度、熱容量、熱伝導、気体、液体、固体	
第8回	5/30	熱とエネルギー	分子運動、熱量保存則、熱機関	
第9回	6/6	前半のまとめ	前半部分についてのまとめと理解の確認	
第10回	6/13	光と波動	光、電磁波、音	
第11回	6/20	電磁気(1)	電荷、クーロン力、電場、電位、電圧	
第12回	6/27	電磁気(2)	電流、オームの法則、磁場	
第13回	7/4	電磁気(3)	電磁誘導、電動機、発電機	
第14回	7/11	原子、原子核、放射線	放射線のいろいろ	
第15回	7/18	まとめ	まとめと理解の確認	
履修条件	特になし。			
予習・復習	予習として参考図書の当該部を読むこと、復習はノートの確認をすること。			
テキスト	「PT・OP ゼロからの物理学」、編者：望月久他，羊土社			
参考書・参考資料等	必要に応じて、授業中に紹介する。			
学生に対する評価	定期試験(90%)、学習態度(10%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	化学 (Chemistry)	履修年次 選択	2 単位 30 時間	担当教員名: 満田 深雪 (非常勤講師室) 質問は授業後に受付
		全学科専攻 1~4 年	コード:LAB115	
〔DP〕 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本科目では、生化学、臨床栄養学などの専門科目を理解する上で必要となる化学の基礎知識を習得し、化学物質の「構造・性質」と「機能」との関係を説明できるようになることを目的とする。到達目標として原子・分子の構造と化学結合について説明できる。溶液の濃度や pH、化学反応の原理について説明できる。身体構成物質・有機化合物の構造と性質について説明できる。				
〔授業の概要〕 私たちの身体をはじめ、身近にある食品や化粧品、家電、ハイテク製品、将来取り扱う医薬品や医療機器など、すべてが化学物質である。その構造や性質を理解することはこれから専門科目を理解・習得していく上で大切な基礎となる。講義では高校化学の内容をベースとし、原子や分子の構造や化学結合、濃度計算や、生体物質等について解説する。ミクロな面のみならず、化学物質の作用・循環というマクロな側面からも説明し、人間をとりまく環境や生命と化学の関係についても言及する。 キーワード: 原子構造、濃度計算、化学反応、栄養素、化学構造、物質循環				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/9	ガイダンス	講義内容、受講上の注意事項の説明、化学アンケート	
第 2 回	4/16	物質の構成	原子と分子、電子配置と電子軌道、同位体	
第 3 回	4/23	化学結合	イオンの生成、イオン化エネルギー、化学結合	
第 4 回	4/30	物質の質量と状態	原子量と分子量、モル、溶液の濃度、物質の三態	
第 5 回	5/7	溶液	溶媒と溶質、溶解度、コロイド溶液	
第 6 回	5/14	酸と塩基	酸と塩基、中和反応、pH、緩衝液	
第 7 回	5/21	酸化と還元	酸化と還元、酸化剤と還元剤、電池、抗酸化物質	
第 8 回	5/28	化学反応	化学反応、反応熱、化学平衡、触媒と酵素	
第 9 回	6/4	有機化合物	炭化水素の構造	
第 10 回	6/11	有機化合物	アルコール、カルボン酸などの構造と化学反応	
第 11 回	6/18	天然有機化合物	天然物中に含まれる有機化合物の構造と生理活性	
第 12 回	6/25	人や食物中の有機化合物	炭水化物の構造と機能	
第 13 回	7/2	人や食物中の有機化合物	脂質の構造と機能	
第 14 回	7/9	人や食物中の有機化合物	タンパク質、酵素、核酸の構造と機能	
第 15 回	7/16	環境の化学(化学総括)	地球の環境と資源エネルギーと現代文明	
履修条件	特になし			
予習・復習	可能であれば、テキストの該当する項目を予習しておくこと			
テキスト	「コ・メディカル化学」齋藤勝裕 他著、裳華房			
参考書・参考資料等	特に指定はしない			
学生に対する評価	定期試験(80%)と授業での提出物(20%)により総合的に評価する			



授業 科目名	統計学 (Statistics)	履修年次 必修:看護1年	単位数: 1単位 30時間	担当教員名: 橋本 和幸 (研究室 A209)
			コード:LAC101	
〔DP〕 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基本的な約束事を知り、記述統計と推測統計を区別できる。(知識)</li> <li>・基本的な統計処理を行うことと、その結果を読み取ることができる。(技能)</li> <li>・データの見方と処理方法を身に着ける。メモやノートをとる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
<p>中学校数学の「データの活用」及び高校数学の「データの分析」で学んだ記述統計と、推測統計や統計的検定について学ぶ。提示されたデータを計算する方法を学ぶ。計算は、データが少量ならば手計算、大量ならばパソコンのソフトウェアを用いて行う。計算結果を読み取る方法を学ぶ。</p> <p>キーワード:データ解析、記述統計、推測統計、統計的検定</p>				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/7	イントロダクション	授業の進め方を説明する。	
第2回	10/21	データの種類	代表値、数量データ、カテゴリデータ	
第3回	10/28	データをまとめる1	平均値、中央値、最頻値	
第4回	11/11	データをまとめる2	度数分布、箱ひげ図	
第5回	11/18	データをまとめる3	分散、標準偏差、偏差値	
第6回	11/25	つながりを調べる1	相関、回帰	
第7回	12/2	つながりを調べる2	クロス集計、連関	
第8回	12/9	推測統計1	母集団と標本	
第9回	12/16	推測統計2	標準誤差	
第10回	12/23	推測統計3	母平均の推定	
第11回	1/6	推測統計4	母比率の推定	
第12回	1/20	統計的検定	統計的検定の概要。帰無仮説と対立仮説	
第13回	1/27	統計的検定の例1	母平均の差の検定	
第14回	1/29	統計的検定の例2	母比率の差の検定	
第15回	2/3	統計的検定の例3	カイ2乗検定	
履修条件	情報リテラシーを受講済みであることが望ましい。			
予習・復習	予習:高校数学「データの分析」を読みこむ。復習:ノートをまとめる。			
テキスト	指定しない。配布資料を用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	講義内課題 50%、期末試験 50%			

授業 科目名	統計学(理学・作業) (Statistics)	履修年次:1年	単位数:	担当教員名: 橋本 和幸 (研究室 A209)
		必修:作業 選択:理学	1単位 30時間 コード:LAC101	
〔DP〕 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基本的な約束事を知り、記述統計と推測統計を区別できる。(知識)</li> <li>・基本的な統計処理を行うことと、その結果を読み取ることができる。(技能)</li> <li>・データの見方と処理方法を身に着ける。メモやノートをとる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
<p>中学校数学の「データの活用」及び高校数学の「データの分析」で学んだ記述統計と、推測統計や統計的検定について学ぶ。提示されたデータを計算する方法を学ぶ。計算は、データが少量ならば手計算、大量ならばパソコンのソフトウェアを用いて行う。計算結果を読み取る方法を学ぶ。</p> <p>キーワード:データ解析、記述統計、推測統計、統計的検定</p>				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/7	イントロダクション	授業の進め方を説明する。	
第2回	10/21	データの種類	代表値、数量データ、カテゴリデータ	
第3回	10/28	データをまとめる1	平均値、中央値、最頻値	
第4回	11/11	データをまとめる2	度数分布、箱ひげ図	
第5回	11/18	データをまとめる3	分散、標準偏差、偏差値	
第6回	11/25	つながりを調べる1	相関、回帰	
第7回	12/2	つながりを調べる2	クロス集計、連関	
第8回	12/9	推測統計1	母集団と標本	
第9回	12/16	推測統計2	標準誤差	
第10回	12/23	推測統計3	母平均の推定	
第11回	1/6	推測統計4	母比率の推定	
第12回	1/20	統計的検定	統計的検定の概要。帰無仮説と対立仮説	
第13回	1/27	統計的検定の例1	母平均の差の検定	
第14回	1/29	統計的検定の例2	母比率の差の検定	
第15回	2/3	統計的検定の例3	カイ2乗検定	
履修条件	情報リテラシーを受講済みであることが望ましい。			
予習・復習	予習:高校数学「データの分析」を読みこむ。復習:ノートをまとめる。			
テキスト	指定しない。配布資料を用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	講義内課題 50%、期末試験 50%			

授業 科目名	統計学 (Statistics)	履修年次	単位数：	担当教員名： 橋本 和幸 (研究室 A209)
		必修: 栄養・歯科1年 看護編入3年	1単位 30時間 コード:LAC101	
〔DP〕 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基本的な約束事を知り、記述統計と推測統計を区別できる。(知識)</li> <li>・基本的な統計処理を行うことと、その結果を読み取ることができる。(技能)</li> <li>・データの見方と処理方法を身に着ける。メモやノートをとる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
<p>中学校数学の「データの活用」及び高校数学の「データの分析」で学んだ記述統計と、推測統計や統計的検定について学ぶ。提示されたデータを計算する方法を学ぶ。計算は、データが少量ならば手計算、大量ならばパソコンのソフトウェアを用いて行う。計算結果を読み取る方法を学ぶ。</p> <p>キーワード: データ解析、記述統計、推測統計、統計的検定</p>				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/3	イントロダクション	授業の進め方を説明する。	
第2回	10/10	データの種類	代表値、数量データ、カテゴリデータ	
第3回	10/17	データをまとめる1	平均値、中央値、最頻値	
第4回	10/24	データをまとめる2	度数分布、箱ひげ図	
第5回	1/31	データをまとめる3	分散、標準偏差、偏差値	
第6回	11/7	つながりを調べる1	相関、回帰	
第7回	11/14	つながりを調べる2	クロス集計、連関	
第8回	11/21	推測統計1	母集団と標本	
第9回	11/28	推測統計2	標準誤差	
第10回	12/5	推測統計3	母平均の推定	
第11回	12/12	推測統計4	母比率の推定	
第12回	12/19	統計的検定	統計的検定の概要。帰無仮説と対立仮説	
第13回	1/9	統計的検定の例1	母平均の差の検定	
第14回	1/23	統計的検定の例2	母比率の差の検定	
第15回	1/30	統計的検定の例3	カイ2乗検定	
履修条件	情報リテラシーを受講済みであることが望ましい。			
予習・復習	予習：高校数学「データの分析」を読みこむ。復習：ノートをまとめる。			
テキスト	指定しない。配布資料を用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	講義内課題 50%、期末試験 50%			

授業 科目名	情報リテラシーI Information literacy I	履修年次:	単位数:	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
		必修:看護1年 看護編入3年	1単位 30時間 コード:LAC102	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ。(知識)</li> <li>・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能)</li> <li>・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。				
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/8	ガイダンス等	ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム	
第2回	4/15	情報処理1	ノートテイキング/タッチタイピングとVDT作業	
第3回	4/22	ソフトウェア演習1	電子メールの利用と管理	
第4回	5/13	情報処理2	ネットワークの仕組みと特性、情報検索の方法	
第5回	5/20	ソフトウェア演習2	図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル	
第6回	5/27	情報セキュリティ1	コンピュータの仕組みと情報処理システム、マルウェア対策	
第7回	6/3	ソフトウェア演習3	アプリケーションソフトウェアと日本語入力	
第8回	6/10	情報処理3	ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷)	
第9回	6/17	ソフトウェア演習4	パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理	
第10回	6/24	ソフトウェア演習5	レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲)	
第11回	7/1	情報処理4	科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索	
第12回	7/8	インターネットと情報	ドメインと信頼性、著作権、情報の評価	
第13回	7/22	ソフトウェア演習6	表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字	
第14回	7/29	ソフトウェア演習7	プレゼンテーションソフトウェアの利用	
第15回	7/30	情報セキュリティ2	情報セキュリティの今日的課題点	
履修条件	特になし。			
予習・復習	タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを配布する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約20%)などにより総合的に評価する。			

授業 科目名	情報リテラシーI Information literacy I	履修年次: 必修:理学・作業1年	単位数: 1単位 30時間	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
			コード:LAC102	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ。(知識)</li> <li>・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能)</li> <li>・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。				
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/9	ガイダンス等	ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム	
第2回	4/16	情報処理1	ノートテイキング/タッチタイピングとVDT作業	
第3回	4/23	ソフトウェア演習1	電子メールの利用と管理	
第4回	4/30	情報処理2	ネットワークの仕組みと特性、情報検索の方法	
第5回	5/7	ソフトウェア演習2	図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル	
第6回	5/14	情報セキュリティ1	コンピュータの仕組みと情報処理システム、マルウェア対策	
第7回	5/21	ソフトウェア演習3	アプリケーションソフトウェアと日本語入力	
第8回	5/28	情報処理3	ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷)	
第9回	6/4	ソフトウェア演習4	パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理	
第10回	6/11	ソフトウェア演習5	レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲)	
第11回	6/18	情報処理4	科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索	
第12回	6/25	インターネットと情報	ドメインと信頼性、著作権、情報の評価	
第13回	7/2	ソフトウェア演習6	表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字	
第14回	7/9	ソフトウェア演習7	プレゼンテーションソフトウェアの利用	
第15回	7/16	情報セキュリティ2	情報セキュリティの今日的課題点	
履修条件	特になし。			
予習・復習	タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを配布する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約20%)などにより総合的に評価する。			

授業 科目名	情報リテラシーI	履修年次: 必修:栄養・歯科1年	単位数: 1単位 30時間	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
	Information literacy I		コード:LAC102	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ。(知識)</li> <li>・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能)</li> <li>・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。				
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	4/12	ガイダンス等	ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム	
第2回	4/19	情報処理1	ノートテイキング/タッチタイピングとVDT作業	
第3回	4/26	ソフトウェア演習1	電子メールの利用と管理	
第4回	5/10	情報処理2	ネットワークの仕組みと特性、情報検索の方法	
第5回	5/17	ソフトウェア演習2	図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル	
第6回	5/24	情報セキュリティ1	コンピュータの仕組みと情報処理システム、マルウェア対策	
第7回	5/31	ソフトウェア演習3	アプリケーションソフトウェアと日本語入力	
第8回	6/7	情報処理3	ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷)	
第9回	6/14	ソフトウェア演習4	パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理	
第10回	6/21	ソフトウェア演習5	レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲)	
第11回	6/28	情報処理4	科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索	
第12回	7/5	インターネットと情報	ドメインと信頼性、著作権、情報の評価	
第13回	7/12	ソフトウェア演習6	表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字	
第14回	7/19	ソフトウェア演習7	プレゼンテーションソフトウェアの利用	
第15回	7/26	情報セキュリティ2	情報セキュリティの今日的課題点	
履修条件	特になし。			
予習・復習	タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを配布する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約20%)などにより総合的に評価する。			

授業 科目名	情報リテラシーII Information literacy II	履修年次:	単位数:	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
		必修: 栄養学科教職課程選択者 選択: 全学科専攻・全学年	1単位 30時間 コード: LAC103	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや書籍の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの問題点を学ぶ。また、研究・情報発信の方法について学ぶ。(知識)</li> <li>・これからの職業人として必要な、受け手を想定したICTを習得する。(技能)</li> <li>・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この演習科目では、情報リテラシー I の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。				
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/7	情報セキュリティ	ガイダンス・パスワード管理 / 情報伝達と信頼性	
第2回	10/21	情報の伝達と活用1	情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン	
第3回	10/28	情報の伝達と活用2	障害と情報・非言語コミュニケーション	
第4回	11/11	情報の伝達と活用3	デジタルデバイスと情報提供	
第5回	11/18	情報と事故1	情報と事故	
第6回	11/25	情報と事故2	インシデント分析と対応・情報整理の技法	
第7回	12/2	情報発信の技術1	標準化サイクルとマニュアル / ソーシャルメディアと個人情報	
第8回	12/9	ソフトウェア演習1	個人情報保護法 / マイナンバー	
第9回	12/16	情報発信の技術2	科学論文の構成・書誌検索	
第10回	12/23	情報発信の技術3	情報の構造化	
第11回	1/6	ソフトウェア演習2	研究手法の評価	
第12回	1/20	情報発信の技術4	図表作成のルール・数値の取り扱い	
第13回	1/27	ソフトウェア演習3	引用と著作権・書誌情報の管理	
第14回	1/29	情報発信の技術5	Excel の活用	
第15回	2/3	情報発信の技術6	プレゼンテーションの効果と手段	
履修条件	情報リテラシー I を既に修得済みであること。			
予習・復習	予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを配布する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)、授業内での小テストおよび課題(約20%)などにより総合的に評価する。			

授業 科目名	情報リテラシーII Information literacy II	履修年次:	単位数:	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
		必修:栄養学科教職課程選択者 選択:全学科専攻・全学年	1単位 30時間 コード:LAC103	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや書籍の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの問題点を学ぶ。また、研究・情報発信の方法について学ぶ。(知識)</li> <li>・これからの職業人として必要な、受け手を想定したICTを習得する。(技能)</li> <li>・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この演習科目では、情報リテラシー I の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。				
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュタリテラシー				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/1	情報セキュリティ	ガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性	
第2回	10/8	情報の伝達と活用1	情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン	
第3回	10/22	情報の伝達と活用2	障害と情報・非言語コミュニケーション	
第4回	10/29	情報の伝達と活用3	デジタルデバイスと情報提供	
第5回	11/5	情報と事故1	情報と事故	
第6回	11/12	情報と事故2	インシデント分析と対応・情報整理の技法	
第7回	11/19	情報発信の技術1	標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報	
第8回	11/26	ソフトウェア演習1	個人情報保護法/マイナンバー	
第9回	12/3	情報発信の技術2	科学論文の構成・書誌検索	
第10回	12/10	情報発信の技術3	情報の構造化	
第11回	12/17	ソフトウェア演習2	研究手法の評価	
第12回	1/7	情報発信の技術4	図表作成のルール・数値の取り扱い	
第13回	1/14	ソフトウェア演習3	引用と著作権・書誌情報の管理	
第14回	1/21	情報発信の技術5	Excel の活用	
第15回	1/28	情報発信の技術6	プレゼンテーションの効果と手段	
履修条件	情報リテラシー I を既に修得済みであること。			
予習・復習	予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを配布する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)、授業内での小テストおよび課題(約20%)などにより総合的に評価する。			



授業 科目名	情報倫理 Information Ethics	履修年次:	単位数:	担当教員名: 佐久間貴士 (研究室:A棟402)
		必修:理学1年 選択:他学科・全学年	1単位 15時間 コード:LAC204	
[DP] 実践に必要な知識, 倫理観とプロフェッショナリズム, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の情報モラルの実態、およびこれまで受けてきた情報教育内容について知る。(知識)</li> <li>・情報を扱う上で発生する、さまざまな事件や事象とそれに対応した法規制について知る。(知識)</li> <li>・情報端末を例にして自己防衛のためのセキュリティの基礎を身につける。(技能)</li> <li>・情報を扱う場合の倫理性を獲得し、自分の身を守るような習慣を身につける。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
<p>情報リテラシーはソフトウェア技能やコンピュータ操作能力を指すだけではない。高度情報社会で生きていくために、情報を扱う上で発生するさまざまな法規制や、新たな IT の出現による非社会的行動の増加への対応能力も含まれる。この講義では情報モラルやセキュリティの基礎を身につけ、これからの職業人として必要な情報についての倫理性獲得を目標とする。</p> <p>キーワード:情報モラル、個人情報保護、著作権、自己防衛</p>				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	11/21	情報モラルとは何か1	モラルと法、情報と法、高校までの扱い(0.5コマ)	
第2回	11/28	情報モラルとは何か2	個人情報保護法、何を守るべきか/なぜ守るべきか	
第3回	12/5	情報モラルとは何か3	著作権法、何を守るべきか/なぜ守るべきか	
第4回	12/12	セキュリティの基礎1	セキュリティとは何か/何を使って何を守るか	
第5回	12/19	セキュリティの基礎2	セキュリティとは何か/なぜ使うのか	
第6回	1/9	セキュリティの基礎3	情報漏洩に対抗するためのリテラシー	
第7回	1/23	情報倫理の実態1	情報漏洩事件の収集と検討	
第8回	1/30	情報倫理の実態2	職業人としての情報倫理のまとめ	
履修条件	情報リテラシー I を既に修得済みであること。			
予習・復習	予習として時事問題を指定することがある。復習は授業内容を確認すること。			
テキスト	指定しない、最新事例を扱ったプリント資料を用意する。			
参考書・参考資料等	授業を進める中で随時紹介する。			
学生に対する評価	提出物(40%)、学習態度(20%)、レポート(40%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	実践統計学 (Practical Statistics)	履修年次： 2年次以上	単位数： 1単位 15時間	担当教員名： 橋本 和幸 (研究室 A209)
		選択：全学科・学年	コード:LAC201	
〔DP〕 実践に必要な知識， 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の要因が絡み合ったデータの処理方法を知る。(知識)</li> <li>・データ処理方法(入力から結果の示し方まで)を身に着ける。(技能)</li> <li>・必要なデータ処理方法を選択できる。(技能)</li> <li>・必要に応じてソフトウェアを使うことができる。(技能)</li> <li>・先行研究から、必要なデータ処理を読み取り、その内容を調べる。(態度・習慣)</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
この授業では、受講者の自発的かつ積極的な学びを重視する。受講者は中学校及び高校の数学、大学の統計学での学びを活かして、ある事象を記述・整理することを目指す。このために必要な統計的検定を学び、実際のデータを処理する。そして、データの収集方法を考案し実行する。さらに、その結果を読み取って報告する。				
キーワード:データ解析、統計的検定、統計用ソフトウェア				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	8/9	知りたいことは何か	リサーチ・クエスチョンを持ち、仮説を立てる。	
第2回	8/9	データ収集方法の考案1	仮説を検証するための方法を考える。	
第3回	8/9	データ収集方法の考案2	仮説を検証するための方法を考える。	
第4回	8/9	データ収集	考えた方法に基づいてデータを収集する。	
第5回	8/13	データ入力	収集したデータをソフトウェアに入力する。	
第6回	8/13	データ分析	ソフトウェアを用いてデータを分析する。	
第7回	8/13	データ分析	ソフトウェアを用いてデータを分析する。	
第7.5回	8/13	まとめ	分析結果を読み取る。	
履修条件	統計学であることが望ましい。			
予習・復習	予習:「統計学」の資料やノートを読みこむ。復習:データ処理を試行する。			
テキスト	指定しない。配布資料を用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	講義内課題 50%、提出物 50%			

授業 科目名	英語I(講読) (Reading) 看護1年	履修年次 選択	1単位30時間	担当教員名: 稲垣三恵子 (非常勤講師室)
		全学科専攻1~4年	コード: LAD101	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、英語読解力の強化を目標に、以下のテーマで講義を進めていく。英語という言語の構造をしっかりと理解し、英語読解力の増強を図る。上記に加え、題材から異文化への理解も深める。このことは外国人と接する際に心得ておくべき要素を含む。				
〔授業の概要〕 ある程度の分量の英語で書かれた文章を読んで、ただ単に英文を日本語に訳すのではなく、内容を理解することを目的とする。その際、スラッシュリーディングやパラグラフリーディングという手法を学び、なるべく速く著者のメッセージを理解できるようにする。				
キーワード: 英文ストラクチャー、基本文法、スラッシュリーディング、パラグラフリーディング				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ - マ	内 容	
第1回	4/ 8	ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項など	
第2回	4/15	Unit 1	履修の準備、受講に関する注意事項など	
第3回	4/22	Unit 2	英文構造の確認2・教科書の内容理解	
第4回	5/13	Unit 3:	英文構造の確認3・教科書の内容理解	
第5回	5/20	Unit 5	英文構造の応用1・教科書の内容理解	
第6回	5/27	Unit 6	英文構造の応用2・教科書の内容理解	
第7回	6/ 3	Unit 6	英文構造の応用3・教科書の内容理解	
第8回	6/10	Unit 8	英語を英語の語順のままでの理解への展開1・内容理解	
第9回	6/17	Unit 8	英語を英語の語順のままでの理解への展開2・内容理解	
第10回	6/24	Unit 9	英語を英語の語順のままでの理解への展開3・内容理解	
第11回	7/ 1	Unit 10	速読への展開1・速読での教科書の内容理解	
第12回	7/ 8	Unit 11	速読への展開2・速読での教科書の内容理解	
第13回	7/22	Unit 12:	速読への展開3・速読での教科書の内容理解	
第14回	7/29	復習	授業全体を通じたまとめ	
第15回	7/30	期末試験		
履修条件	特になし			
予習・復習	授業でカバーしたことの復習は必須です。単語テストを行います。			
テキスト	「Life in a Multi-lingual and Multi- Cultural Society」グローバル時代の異文化コミュニケーション 朴シウォン 杉田めぐみ 小坂貴志 Daniel K. Goldner (KENKYUSHA)			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内態度20% 小テスト20%、定期試験60%			

授業科目名	英語 I ( 講読 ) English I (Reading) 作業 1 年 理学 1 年	履修年次: 選択: 全学科 1 ~ 4 年	1 単位 30 時間 コード: LAD101	担当教員名: 神田 みなみ ( 研究室 図書館棟 5 )
〔 DP 〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔 授業の到達目標及びテーマ 〕 高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら, 英語を英語のまま理解できるレベルまで英語力を向上させることを目標し, 大量の英文インプットをめざす英語多読を行う。 1) 基本レベルの英文を毎分 120 語以上で読み, 概要を把握できる。 2) 基本レベルの英文を連続して 20 分以上あるいは 2,500 語以上の本を一気に読むことができる。 3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける。				
〔 授業の概要 〕 授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる。読んだ本は, シリーズ名, 読書レベル, 語数を「多読記録」として記録し, 自分の英語読書ペースを振り返ってもらう。最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ, 徐々に長い本を読むことにつなげる。 キーワード: 英語, リーディング, 多読, グレイディッドリーダーズ, 語彙学習				
〔 授業計画 〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/ 9	Course Introduction	授業の概要説明, 英語力チェックテスト	
第 2 回	4/16	多読ガイダンス	多読三原則, 辞書の使い方, 読書レベル・語彙力とは	
第 3 回	4/23	多読の読み方	読書スピード, 英語多読の記録, 語彙・表現と辞書	
第 4 回	4/30	英語多読シリーズ紹介	読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)	
第 5 回	5/ 7	多読の進め方	Graded Readers (GR), レベル 0 ~ 1 の GR, LR シリーズ	
第 6 回	5/14	読書体力をつける	1 冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル 1 ~ 2	
第 7 回	5/21	ノンフィクション英語	科学・健康などについての英語の読み物	
第 8 回	5/28	レベルの上げ方	GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁	
第 9 回	6/ 4	GR をさらに読む	読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む	
第 10 回	6/11	授業内多読	読書体力, 聞き読み, 朗読音源付き GR 紹介	
第 11 回	6/18	授業内多読	授業内多読, GR, LR シリーズ紹介	
第 12 回	6/25	授業内多読	授業内多読, レベルアップ方法, GR, LR シリーズ紹介	
第 13 回	7/ 2	授業内多読	授業内多読, GR, LR シリーズ紹介	
第 14 回	7/ 9	読書スピードの計測	授業内多読, 読書記録の確認	
第 15 回	7/16	まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	週 7 冊以上洋書を読み, 読書リスト・語彙・表現メモを記録する。			
テキスト	『多聴多読マガジン 2024 年 4 月号』コスモピア 『めざせ 100 万語! 読書記録手帳』コスモピア			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内課題( 授業態度・Teams 課題含む ) 30%, 宿題・読書記録 40%, 試験 30%			

授業科目名	英語 I ( 講読 ) English I (Reading) 看護 1 年	履修年次: 選択 : 全学科 1 ~ 4 年	1 単位 30 時間 コード: LAD101	担当教員名: 神田 みなみ ( 研究室 図書館棟 5 )
〔 DP 〕 コミュニケーション能力 , 実践に必要な知識 , 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔 授業の到達目標及びテーマ 〕 高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら , 英語を英語のまま理解できるレベルまで英語力を向上させることを目標し , 大量の英文インプットをめざす英語多読を行う . 1) 基本レベルの英文を毎分 120 語以上で読み , 概要を把握できる . 2) 基本レベルの英文を連続して 20 分以上あるいは 2,500 語以上の本を一気に読むことができる . 3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける .				
〔 授業の概要 〕 授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる . 読んだ本は , シリーズ名 , 読書レベル , 語数を「多読記録」として記録し , 自分の英語読書ペースを振り返ってもらう . 最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ , 徐々に長い本を読むことにつなげる . キーワード: 英語 , リーディング , 多読 , グレイディッドリーダーズ , 語彙学習				
〔 授業計画 〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/12	Course Introduction	授業の概要説明 , 英語力チェックテスト	
第 2 回	4/19	多読ガイダンス	多読三原則 , 辞書の使い方 , 読書レベル・語彙力とは	
第 3 回	4/26	多読の読み方	読書スピード , 英語多読の記録 , 語彙・表現と辞書	
第 4 回	5/10	英語多読シリーズ紹介	読みやすさレベル(YL) , Leveled Readers (LR)	
第 5 回	5/17	多読の進め方	Graded Readers (GR) , レベル 0 ~ 1 の GR, LR シリーズ	
第 6 回	5/24	読書体力をつける	1 冊 400 語未満 , 1000 語前後のレベル 1 ~ 2	
第 7 回	5/31	ノンフィクション英語	科学・健康などについての英語の読み物	
第 8 回	6/ 7	レベルの上げ方	GR, LR のレベル別シリーズ紹介 , 多読の壁	
第 9 回	6/14	GR をさらに読む	読書速度と単語・文法レベル , 日本語に訳さずに読む	
第 10 回	6/21	授業内多読	読書体力 , 聞き読み , 朗読音源付き GR 紹介	
第 11 回	6/28	授業内多読	授業内多読 , GR, LR シリーズ紹介	
第 12 回	7/ 5	授業内多読	授業内多読 , レベルアップ方法 , GR, LR シリーズ紹介	
第 13 回	7/12	授業内多読	授業内多読 , GR, LR シリーズ紹介	
第 14 回	7/19	読書スピードの計測	授業内多読 , 読書記録の確認	
第 15 回	7/26	まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	週 7 冊以上洋書を読み , 読書リスト・語彙・表現メモを記録する .			
テキスト	『多聴多読マガジン 2024 年 4 月号』コスモピア 『めざせ 100 万語! 読書記録手帳』コスモピア			
参考書・参考資料等	指定しない . 授業の中で適宜紹介する .			
学生に対する評価	授業内課題 ( 授業態度・Teams 課題含む ) 30% , 宿題・読書記録 40% , 試験 30%			

授業 科目名	英語 (英会話) (Conversation) 栄養1年 歯科1年	履修年次 選択 全学科専攻1~4年	1単位30時間 コード:LAD102	担当教員名: Brendyn Lane (非常勤講師室)
	〔DP〕 コミュニケーション 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽			
〔授業の到達目標及びテーマ〕 Students will be able to communicate in basic common situations and use natural phrases and expressions. Students will focus on language used in common medical situations while building their knowledge of basic medical terms.				
〔授業の概要〕 This course will be administered by a variety of methods including role-play, pair work, group work discussions and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with the teacher.				
キーワード: Fluency / Vocabulary / Attitude / Participation / Communicative Ability				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	04/08	Introducing Yourself	Self-Introductions and Meeting People –	
第2回	04/15	Talking about yourself	Exchanging Information when meeting people.	
第3回	04/22	Food Preferences	Discussing different types of food preferences.	
第4回	05/13	MEDICAL PROCEDURES 1	Conversation practice with basic medical treatment.	
第5回	05/20	Habits & Routines	Discussion on free time activities and information exchanging with natural English.	
第6回	05/27	Past Events	Exchanging holiday experiences in a natural conversation style.	
第7回	06/03	MEDICAL PROCEDURES 2	Role-play in pairs. Symptoms/Ailments and Injuries.	
第8回	06/10	Describing people	Using adjectives to describe appearance and character.	
第9回	06/17	Talking about places	Recommending places to visit and exchanging information with partners.	
第10回	06/24	MEDICAL PROCEDURES 3	Medical Role-play in pairs/groups. Patient / Nurse vocab.	
第11回	07/01	Finding Places	Finding locations and asking for information on common places around town.	
第12回	07/08	Past Events	Exchanging information regarding places they have been to and making recommendations.	
第13回	07/22	Future Plans	Planning future activities with friends including activities and points of interest.	
第14回	07/29	MEDICAL PROCEDURES 4	Medical Role-play in pairs. - General topic.	
第15回	07/30	TEST AND FEEDBACK	Role-play / Presentation	
履修条件	特になし			
予習・復習	テキストの予習、会話練習の準備			
テキスト	Smart Choice 4 <sup>th</sup> Edition Student Book 1			
参考書・参考資料等	LIFESAVER Basic English in Medical Situations			
学生に対する評価	授業内態度 30%、課題・提出物 30%、プレゼンテーション 40%			

授業 科目名	英語（英会話） （Conversation） 看護1年	履修年次 選択	1単位30時間	担当教員名： Brendyn Lane （非常勤講師室）
		全学科専攻1～4年	コード:LAD102	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 Students will be able to communicate in basic common situations and use natural phrases and expressions. Students will focus on language used in common medical situations while building their knowledge of basic medical terms.				
〔授業の概要〕 This course will be administered by a variety of methods including role-play, pair work, group work discussions and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with the teacher.				
キーワード: Fluency / Vocabulary / Attitude / Participation / Communicative Ability				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	04/12	Introducing Yourself	Self-Introductions and Meeting People –	
第2回	04/19	Talking about yourself	Exchanging Information when meeting people.	
第3回	04/26	Food Preferences	Discussing different types of food preferences.	
第4回	05/10	MEDICAL PROCEDURES 1	Conversation practice with basic medical treatment.	
第5回	05/17	Habits & Routines	Discussion on free time activities and information exchanging with natural English.	
第6回	05/24	Past Events	Exchanging holiday experiences in a natural conversation style.	
第7回	05/31	MEDICAL PROCEDURES 2	Role-play in pairs. Symptoms/Ailments and Injuries.	
第8回	06/07	Describing people	Using adjectives to describe appearance and character.	
第9回	06/14	Talking about places	Recommending places to visit and exchanging information with partners.	
第10回	06/21	MEDICAL PROCEDURES 3	Medical Role-play in pairs/groups. Patient / Nurse vocab.	
第11回	06/28	Finding Places	Finding locations and asking for information on common places around town.	
第12回	07/05	Past Events	Exchanging information regarding places they have been to and making recommendations.	
第13回	07/12	Future Plans	Planning future activities with friends including activities and points of interest.	
第14回	07/19	MEDICAL PROCEDURES 4	Medical Role-play in pairs. - General topic.	
第15回	07/26	TEST AND FEEDBACK	Role-play / Presentation	
履修条件	特になし			
予習・復習	テキストの予習、会話練習の準備			
テキスト	Smart Choice 4 <sup>th</sup> Edition Student Book 1			
参考書・参考資料等	LIFESAVER Basic English in Medical Situations			
学生に対する評価	授業内態度 30%、課題・提出物 30%、プレゼンテーション 40%			

授業 科目名	英語（講読・記述） (Academic Writing)	履修年次 選択	1 単位 30 時間	担当教員名： 稲垣三恵子 (非常勤講師室)
		全学科専攻 1～4 年	コード：LAD103	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 英文を読んで理解した内容を議論し、それに対する自分の考えを英語で記述できるようにする。英語のライティングについては、文法や語彙などに注意しながら正しい(グローバルに受け入れられる)英語で論理的に書けるように練習するとともに、それぞれのジャンルに適したスタイル(書き方)についても学ぶ。また、ブレインストーミングなども行い、より深い思考力も育てる。				
〔授業の概要〕 まず与えられた英文を読んで理解し、その内容に関してディスカッションをする。さらに、英語における文章構成を学ぶことも行い、自分の考えを論理的かつ明確な英語の文章として書けるように練習する。教科書の一つのユニットを2回に渡って学習し、自分自身について、過去の出来事について、描写、比較、手紙などさまざまなスタイルのライティングを学んでいく。 キーワード：アカデミックライティング、ブレインストーミング、論理的な文章、説得力のある文章				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/ 7	授業ガイダンス	授業の概要説明、受講に関する注意事項など、	
第2回	10/21	Chapter 1	WRITING ABOUT YOURSELF	
第3回	10/28	Chapter 1	"	
第4回	11/11	Chapter 2	WRITING ABOUT YOUR FAMILY AND FRIENDS	
第5回	11/18	Chapter 2	"	
第6回	11/25	Chapter 3	WRITING ABOUT YOUR ACTIVITIES	
第7回	12/ 2	Chapter 3	"	
第8回	12/ 9	Chapter 4	GIVING INSTRUCTIONS	
第9回	12/16	Chapter 5	WRITING ABOUT YOUR DAY	
第10回	12/23	Chapter 6	WRITING DESCRIPTIONS	
第11回	1/ 6	Chapter 7	REAL-LIFE WRITING: WRITING LETTERS	
第12回	1/20	Chapter 8	WRITING A NARRATIVE	
第13回	1/27	Chapter 8	"	
第14回	1/29	Chapter 9	WRITING A NARRATIVE	
第15回	2/ 6	Chapter 9	"	
履修条件	特になし			
予習・復習	復習として指示されたトピックに関する文章を書き、提出する			
テキスト	READY TO WRITE 1 A FIRST COMPOSITION TEXT KAREN BLANCHARD・CHRISTINE ROOT Pearson			
参考書・参考資料等	適宜配布			
学生に対する評価	課題(指示されたトピックに関する文章の提出)50%、 定期試験50%			



授業 科目名	英語（講読・記述） (Academic Writing)	履修年次 選択	1 単位 30 時間	担当教員名: 稲垣三恵子 (非常勤講師室)
		全学科専攻 1~4 年	コード: LAD103	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 英文を読んで理解した内容を議論し、それに対する自分の考えを英語で記述できるようにする。英語のライティングについては、文法や語彙などに注意しながら正しい(グローバルに受け入れられる)英語で論理的に書けるように練習するとともに、それぞれのジャンルに適したスタイル(書き方)についても学ぶ。また、ブレインストーミングなどを行い、より深い思考力も育てる。				
〔授業の概要〕 まず与えられた英文を読んで理解し、その内容に関してディスカッションをする。さらに、英語における文章構成を学ぶこともを行い、自分の考えを論理的かつ明確な英語の文章として書けるように練習する。教科書の一つのユニットを2回に渡って学習し、自分自身について、過去の出来事について、描写、比較、手紙などさまざまなスタイルのライティングを学んでいく。 キーワード: アカデミックライティング、ブレインストーミング、論理的な文章、説得力のある文章				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/ 1	授業ガイダンス	授業の概要説明、受講に関する注意事項など	
第2回	10/ 8	Chapter 1	WRITING ABOUT YOURSELF	
第3回	10/22	Chapter 1		
第4回	10/29	Chapter 2	WRITING ABOUT YOUR FAMILY AND FRIENDS	
第5回	11/ 5	Chapter 2		
第6回	11/12	Chapter 3	WRITING ABOUT YOUR ACTIVITIES	
第7回	11/19	Chapter 3		
第8回	11/26	Chapter 4	GIVING INSTRUCTIONS	
第9回	12/ 3	Chapter 5	WRITING ABOUT YOUR DAY	
第10回	12/10	Chapter 6	WRITING DESCRIPTIONS	
第11回	12/17	Chapter 7	REAL-LIFE WRITING: WRITING LETTERS	
第12回	1/ 7	Chapter 8	WRITING A NARRATIVE	
第13回	1/14	Chapter 8		
第14回	1/21	Chapter 9	WRITING A NARRATIVE	
第15回	1/28	Chapter 9		
履修条件	特になし			
予習・復習	復習として指示されたトピックに関する文章を書き、提出する			
テキスト	READY TO WRITE 1 A FIRST COMPOSITION TEXT KAREN BLANCHARD・CHRISTINE ROOT Pearson			
参考書・参考資料等	適宜配布			
学生に対する評価	課題(指示されたトピックに関する文章の提出)50%、定期試験50%			

授業 科目名	英語III (講読・記述) English III (Reading & Writing)	履修年次: 選択:	1 単位 30 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		全学科 1~4 年	コード: LAD103	
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 英語を英語のまま理解・表現できるレベルまで英語力を向上させることを目標とする。 1) 英文を毎分 150 語以上で読み, 概要を把握できる。(英語多読) 2) 英文を連続して 30 分以上, または 3,000 語の本を読み続けることができる。(英語多読) 3) 自然で伝わりやすい英文を書くことができる。(英文筆写・Freewriting)				
〔授業の概要〕 授業では図書館および洋書オンライン・ライブラリーを利用して英語多読を行う。英語読み物シリーズを各自のペースで読書し, 読んだ本は, シリーズ名, 読書レベル, 語数を「多読記録」として記録する。英語ライティング力向上のために英文筆写および時間制限の中で英語を書き続ける訓練 Freewriting などにより, 英語和訳ではなく, 英語を英語のまま書く英語ライティング能力向上をめざす。各自 B5 ノートの本授業のために用意すること。 キーワード: 英語, リーディング, 多読, Fluency, Freewriting				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第 1 回	10/ 1	Course Introduction	授業の概要説明, 英語力チェックテスト	
第 2 回	10/ 8	多読ガイド	多読三原則, 英語多読の記録	
第 3 回	10/22	Freewriting, 英文筆写	英語で書くこと, 英語表現の使い方	
第 4 回	10/29	英語多読シリーズ紹介	読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)	
第 5 回	11/ 5	多読の進め方	Graded Readers (GR), Leveled Reading (LR) シリーズ紹介	
第 6 回	11/12	英語多読	読書体力, 聞き読み, 朗読音源付き GR 紹介	
第 7 回	11/19	英語多読	授業内多読	
第 8 回	11/26	英語多読	授業内多読	
第 9 回	12/ 3	英語多読	授業内多読	
第 10 回	12/10	英語多読	授業内多読	
第 11 回	12/17	英語多読	授業内多読	
第 12 回	1/ 7	英語多読	授業内多読	
第 13 回	1/14	英語多読	授業内多読	
第 14 回	1/21	読書スピードの計測	授業内多読, 読書記録の確認	
第 15 回	1/28	まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	毎日 15 分以上洋書を読み, 読書記録を書くこと。英文筆写を毎週行う			
テキスト	なし。(未購入の場合「めざせ 100 万語! 読書記録手帳」コスモピア 660 円)			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業態度(課題含む) 30%, Teams 課題・英文筆写等宿題 30%, 読書記録 40%			

授業 科目名	英語 (英語コミュニケーション) (English communication)	履修年次 選択	1 単位 30 時間	担当教員名: 稲垣三恵子 (非常勤講師室)
		全学科専攻 1~4 年	コード: LAD104	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 This course focuses on English communication, with an emphasis on speaking and listening skills. There is particular focus on developing students' English confidence and fluency. A major aim of the course is to provide students with practice using basic functional languages. In addition, students expand existing knowledge through practicing English in realistic contexts.				
〔授業の概要〕 The classroom language is mainly English and students will be encouraged to use English as much as possible in the classroom. Students will mainly work in pairs and groups, and will be given frequent opportunities to speak to the instructor.				
キーワード: English communication, speaking and listening skills, English confidence				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ - マ	内 容	
第 1 回	10/ 7	orientation	information about the course	
第 2 回	10/21	Unit 1: Spain	immigration and customs counters at the airport	
第 3 回	10/28	Unit 2: China	transportation information and changing money	
第 4 回	11/11	Unit 3: Peru	checking in at the hotel and facilities available at the hotel	
第 5 回	11/18	Unit 4: Tokyo	talking about Tokyo and the hometown in Japan	
第 6 回	11/25	Unit 5: New York City	practice asking and giving directions from A to B	
第 7 回	12/ 2	Unit 5: New York City	practice asking and giving directions from A to B	
第 8 回	12/ 9	Unit 7: India	shopping for clothes	
第 9 回	12/16	Unit 10: Cambodia	markets and bargaining	
第 1 0 回	12/23	Unit 6: Antarctica	describing health problems and getting advice	
第 1 1 回	1/ 6	Unit 8: New Zealand	excursions and adventurous sports	
第 1 2 回	1/13	Unit 9: Africa	running into problems	
第 1 3 回	1/20	Unit 12: Italy	conversation at a restaurant	
第 1 4 回	1/27	Review	units review	
第 1 5 回	2/3	Final examination	student presentation	
履修条件	Nothing especially			
予習・復習	To complete the assignment			
テキスト	GLOBE TROTTERS " Carmella Lieske CENGAGE Learning			
参考書・参考資料等	English-Japanese dictionary			
学生に対する評価	English-Japanese dictionary			

授業 科目名	英語（英会話） （Conversation）	履修年次 選択	1 単位 30 時間	担当教員名: Brendyn Lane （非常勤講師室）
		全学科専攻 1～4 年	コード:LAD104	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 Students will be able to communicate in basic common situations and use natural phrases and expressions. Students will focus on language used in common medical situations while building their knowledge of basic medical terms.				
〔授業の概要〕 This course will be administered by a variety of methods including role-play, pair work, group work discussions and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with the teacher.				
キーワード: Fluency / Vocabulary / Attitude / Participation / Communicative Ability				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/ 4	Talking about experiences.	Describing a past vacation and exchanging stories with friends.	
第2回	10/11	Exchanging opinions.	Introducing music and movies to friends.	
第3回	10/18	Talking about personal Experiences.	Talking about an activity they would like to try and discuss with class members.	
第4回	10/25	MEDICAL PROCEDURES 1	Medical Role-play in pairs/groups. Basic medical treatment.	
第5回	11/ 1	Describing events.	Talking about a special day. Graduation trip. Special time.	
第6回	11/ 8	Talking about special events and celebrations.	Explain a common event held in Japan or of their own experience. Extending conversation practice.	
第7回	11/15	Making suggestions and talking about obligations.	Healthy and unhealthy lifestyles and suggestions to classmates.	
第8回	11/22	MEDICAL PROCEDURES 2	Medical simulation in pairs. Symptoms, ailments and Injuries.	
第9回	11/29	Recounting of events,	Describing a time and events in the past.	
第10回	12/6	Describing preferences.	Describe a famous person, friend or family member	
第11回	12/13	Reporting events.	Discussion about school days or activities they were involved in.	
第12回	12/20	MEDICAL PROCEDURES 3	Medical Role-play in pairs/groups. Common topics.	
第13回	01/10	Talking about past habits.	Talking about younger days.	
第14回	01/24	Discussing preferences.	Talk about their dream home using descriptive vocabulary.	
第15回	01/31	TEST AND FEEDBACK	Role-play / Presentation	
履修条件	特になし			
予習・復習	テキストの予習			
テキスト	Smart Choice 4 <sup>th</sup> Edition Student Book 2			
参考書・参考資料等	LIFESAVER Basic English in Medical Situations			
学生に対する評価	授業内態度 30%、課題・提出物 30%、プレゼンテーション 40%			

授業 科目名	英語 (保健医療英語) English for Health Care	履修年次: 必修:看護2,	2単位 30時間 コード:LAD201	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟5)
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 保健医療・看護に関する専門用語を理解することができる。 2) 看護現場における会話を理解し, 英語により適切に記録することができる。 3) 患者・対象者に対して, 英語で声かけができる。				
〔授業の概要〕英国で働く非英語母語話者看護師向けの英語テキストを用いて, 患者受入・呼吸器疾患・創傷ケア・糖尿病・検体検査・投薬・点滴管理・術前術後ケア・退院支援などの場面での英会話を学習する。医療現場で用いられる専門分野の用語を覚えるとともに, 患者や看護師同士で適切にコミュニケーションを図るための英語表現を学ぶ。英会話スキットの音声を聴き込むこと。テキストの設問に回答することで英会話スキットに用いられている専門用語や英語表現を深く理解できるようになっており, 分からない場合は巻末を参照すればよい。隔週に小テスト(Quiz)を実施して学習内容の定着をはかる。と のクラス分けについては Microsoft Teams の科目チームでアナウンスする。				
キーワード: 看護 nursing, 保健医療専門職 health professionals, 専門英語 English for Specific Purposes				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	10/2	Orientation, Unit 1	授業の概要説明, Patient admissions (患者受入)	
第2回	10/9	Unit 1 (続き)	入院時, バイタルサイン, 心臓機能, 引き継ぎ等の英語	
第3回	10/16	Unit 2, 小テスト1	Respiratory problems (呼吸器疾患)	
第4回	10/23	Unit 3	Wound Care (創傷ケア)	
第5回	10/30	Unit 4, 小テスト2	Diabetes Care (糖尿病ケア)	
第6回	11/6	Unit 5	Medical specimens (検体検査), 病理検査の英語表現	
第7回	11/13	Unit 6, 小テスト3	Medications (投薬)	
第8回	11/20	Unit 6 (続き)	与薬管理, 薬の吸収・代謝などの英語表現	
第9回	11/27	Unit 7, 小テスト4	Intravenous infusions (静脈内注射)	
第10回	12/4	Unit 7 (続き)	点滴管理, カニューラ観察, 水分出納などの英語表現	
第11回	12/11	Unit 8, 小テスト5	Pre-operative patient assessment (術前患者評価)	
第12回	12/18	Unit 8 (続き)	術前看護, 血液循環などの英語表現	
第13回	1/8	Unit 9, 小テスト6	Post-operative patient assessment (術後患者評価)	
第14回	1/15	Unit 10	Discharge planning (退院支援計画), チーム医療	
第15回	1/22	まとめ, 小テスト7	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	予習: 会話音声とテキスト設問 復習: 会話音声の聴き込み, 専門用語学習			
テキスト	<i>Cambridge English for Nursing: Intermediate Plus, with 2 Audio CDs.</i> V. Allum & P. McGarr (2008). Cambridge University Press.			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内課題・Teams 課題(14回)など提出物 30%, 7回の小テスト 70%			

授業 科目名	英語 (保健医療英語) English for Health Care	履修年次:	2 単位 30 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		必修: 編入 3	コード: LAD201	
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 保健医療・看護に関する専門用語を理解することができる。 2) 看護現場における会話を理解し, 英語により適切に記録することができる。 3) 患者・対象者に対して, 英語で声かけができる。				
〔授業の概要〕				
英国で働く非英語母語話者看護師向けの英語テキストを用いて, 患者受入・呼吸器疾患・創傷ケア・糖尿病・検体検査・投薬・点滴管理・術前術後ケア・退院支援などの場面での英会話を学習する。医療現場で用いられる専門分野の用語を覚えるとともに, 患者や看護師同士で適切にコミュニケーションを図るための英語表現を学ぶ。英会話スキットの音声を聴き込むこと・テキストの設問に回答することで英会話スキットに用いられている専門用語や英語表現を深く理解できるようになっており, 分からない場合は巻末を参照すればよい。隔週に小テスト(Quiz)を実施して学習内容の定着をはかる。				
キーワード: 看護 nursing, 保健医療専門職 health professionals, 専門英語 English for Specific Purposes				
〔授業計画〕 前半は火曜 4 時限と 11 月 6 日 (水) 5 時限、後半は水曜 2 時限。				
回数	日付	テーマ	内容	
第 1 回	10/ 1	Orientation, Unit 1	授業の概要説明, Patient admissions (患者受入)	
第 2 回	10/ 8	Unit 1 (続き)	入院時, バイタルサイン, 心臓機能, 引き継ぎ等の英語	
第 3 回	10/22	Unit 2, 小テスト 1	Respiratory problems (呼吸器疾患)	
第 4 回	10/29	Unit 3	Wound Care (創傷ケア)	
第 5 回	11/ 5	Unit 4, 小テスト 2	Diabetes Care (糖尿病ケア)	
第 6 回	11/ 6	Unit 5	Medical specimens (検体検査), 病理検査の英語表現	
第 7 回	11/12	Unit 6, 小テスト 3	Medications (投薬)	
第 8 回	11/19	Unit 6 (続き)	与薬管理, 薬の吸収・代謝などの英語表現	
第 9 回	11/27	Unit 7, 小テスト 4	Intravenous infusions (静脈内注射)	
第 10 回	12/ 4	Unit 7 (続き)	点滴管理, カニューラ観察, 水分出納などの英語表現	
第 11 回	12/11	Unit 8, 小テスト 5	Pre-operative patient assessment (術前患者評価)	
第 12 回	12/18	Unit 8 (続き)	術前看護, 血液循環などの英語表現	
第 13 回	1/ 8	Unit 9, 小テスト 6	Post-operative patient assessment (術後患者評価)	
第 14 回	1/15	Unit 10	Discharge planning (退院支援計画), チーム医療	
第 15 回	1/22	まとめ, 小テスト 7	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	予習: 会話音声とテキスト設問 復習: 会話音声の聴き込み, 専門用語学習			
テキスト	<i>Cambridge English for Nursing: Intermediate Plus, with 2 Audio CDs.</i> V. Allum & P. McGarr (2008). Cambridge University Press.			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内課題・Teams 課題(14 回)など提出物 30%, 7 回の小テスト 70%			

授業 科目名	英語 (保健医療英語) English for Health Care	履修年次:	2 単位 30 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		必修: 栄養 2 年	コード: LAD201	
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 栄養・食事・健康に関する専門用語を理解することができる。 2) 栄養・食事・健康に関する会話を理解し, 英語により適切に応答や説明ができる。 3) 対象者に対して, 英語で声かけができる。				
〔授業の概要〕				
英語圏で働く非英語母語話者の栄養士向けの英語テキストを用いて, 専門分野の用語や会話表現を覚えるとともに, 英語で適切に声かけをしてコミュニケーションを取る方法を学ぶ。Book 1, Book 2, Book 3 に各 15 ユニット (全 45 ユニット) の構成で, 本授業では Book 1 (B1), Book 3 (B3) より第 1~第 14 ユニット(U1~U14)の合計 28 ユニートを学習する。 オンライン版 DigiBook で予習 (Reading, Vocabulary, Listening) および回答確認の後、英会話音声 (Listening) を聴き込むこと。隔週に 4 ユニット分の小テスト (Quiz) を実施し学習内容の定着をはかる。 キーワード: 栄養士 nutritionist, dietitian, 栄養 nutrition, 専門英語 English for Specific Purposes				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/10	B1 U1 & B3 U1	概要説明; Fruits and Vegetables; Nutritionist or Dietitian?	
第 2 回	4/17	B1 U2 & B3 U2	Cereal Grains シリアル; Clinical Nutrition 臨床栄養学	
第 3 回	4/24	Quiz 1; B1 U3 & B3 U3	Meat 肉類; Sports Nutrition スポーツ栄養学	
第 4 回	5/ 1	B1 U4 & B3 U4	Poultry 鳥肉; What to Expect at Your First Appointment	
第 5 回	5/ 8	Quiz 2; B1 U5 & B3 U5	Dairy Products 乳製品; Diet History 食事歴	
第 6 回	5/15	B1 U6 & B3 U6	Fish 魚肉; Food Labels 食品ラベル	
第 7 回	5/22	Quiz 3; B1 U7 & B3 U7	Baked Goods パン, 焼菓子; Junk Food 駄菓子	
第 8 回	5/29	B1 U8 & B3 U8	Beverages 飲料; The Mediterranean Diet	
第 9 回	6/ 5	Quiz 4; B1 U9 & B3 U9	Dried Fruit and Nuts; DASH Diet & Alkaline Diet	
第 10 回	6/12	B1 U10 & B3 U10	Organic Foods 有機食品; 5-2(IF) Diet & Atkins Diet	
第 11 回	6/19	Quiz 5; B1 U11 & B3 U11	Human Anatomy 人体構造; Measuring Body Composition	
第 12 回	6/26	B1 U12 & U13	Digestive System 消化器系 Parts 1 & 2	
第 13 回	7/ 3	Quiz 6; B3 U12 & U13	Measuring Body Composition 体組成測定 Parts 1 & 2	
第 14 回	7/10	B1 U14 & B3 U14	The Nervous System 神経系; Applying for a Job 就職活動	
第 15 回	7/17	Quiz 7, まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	予習: Digibook 音声とテキスト設問 復習: 会話音声の聴き込み, 専門用語学習			
テキスト	<i>Career Paths: Nutrition &amp; Dietetics – Student's Book (with Digibooks App)</i> . A. Christaki, & J. Dooley (2016). Express Publishing .			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内課題・Teams 課題(14 回)・提出物 30%, 7 回の小テスト(Quiz) 70%			

授業 科目名	英語 (保健医療英語) English for Health Care	履修年次:	2 単位 30 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		必修: 歯科 2 年	コード: LAD201	
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 歯科診療・歯科衛生に関する専門用語を理解することができる。 2) 歯科衛生士が働く現場における会話を理解し, 英語により適切に应答や説明ができる。 3) 患者・対象者に対して, 英語で声かけができる。				
〔授業の概要〕				
非英語母語話者の歯科衛生士向けの英語テキストを用いて, 専門分野の用語や会話表現を覚えるとともに, 英語で適切に声かけをしてコミュニケーションを取る方法を学ぶ。Book 1, Book 2, Book 3 に各 15 ユニット (全 45 ユニット) の構成で, 本授業では Book 1 (B1) および Book 3 (B3) の第 1~第 14 ユニット (U1~U14) の合計 28 ユニットの学習をする。				
オンライン版 DigiBook で予習 (Reading, Vocabulary, Listening) および回答確認の後、英会話音声 (Listening) を聴き込むこと。隔週に 4 ユニット分の小テスト (Quiz) を実施し学習内容の定着をはかる。				
キーワード: 歯科衛生士 dental hygienist, 口腔衛生 oral hygiene, 専門英語 English for Specific Purposes				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第 1 回	4/10	B1 U1 & B3 U1	概要説明; Dental Hygienists; Medication 処方薬	
第 2 回	4/17	B1 U2 & B3 U2	Work Settings 職場環境; Anesthesia 麻酔	
第 3 回	4/24	Quiz 1; B1 U3 & B3 U3	Dental Personnel スタッフ; Pediatric Dentistry 小児歯科	
第 4 回	5/ 1	B1 U4 & B3 U4	In the Practice 診療所; Geriatric Dentistry 老年歯科	
第 5 回	5/ 8	Quiz 2; B1 U5 & B3 U5	Dental Specialties 専門分野; Special Needs Patients	
第 6 回	5/15	B1 U6 & B3 U6	DH Instruments 器具; Chronic Illness 慢性疾患	
第 7 回	5/22	Quiz 3; B1 U7 & B3 U7	The Mouth 口腔; Patient Anxiety 患者の不安	
第 8 回	5/29	B1 U8 & B3 U8	Tooth Anatomy 歯の構造; Hypersensitivity 過敏症	
第 9 回	6/ 5	Quiz 4; B1 U9 & B3 U9	Types of Teeth; 患者とのコミュニケーション	
第 10 回	6/12	B1 U10 & B3 U10	Oral Health 口腔衛生; Vital Signs バイタル	
第 11 回	6/19	Quiz 5; B1 U11 & B3 U11	PPE 個人防護具; Case Presentation 治療計画	
第 12 回	6/26	B1 U12 & B3 U12	Infection Control 感染制御; Process of Care 治療プロセス	
第 13 回	7/ 3	Quiz 6; B1 U13 & B3 U13	Dental Records カルテ; Nutritional Counseling 栄養指導	
第 14 回	7/10	B1 U14 & B3 U14	Patient Health History 病歴; Obtaining Licensure 資格	
第 15 回	7/17	Quiz 7, まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	予習: Digibook 音声とテキスト設問 復習: 会話音声の聴き込み, 専門用語学習			
テキスト	<i>Career Paths: Dental Hygienist – Student's Book (with Digibooks App).</i> V. Evans, J. Dooley, & C. Apodaca (2016). Express Publishing .			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内課題・Teams 課題 (14 回)・提出物 30%, 7 回の小テスト (Quiz) 70%			



授業 科目名	英語（保健医療英語） (English for Health Care)	履修年次 必修	2 単位 30 時間	担当教員名: 稲垣三恵子 (非常勤講師室)
		理、作 2 年	コード: LAD201	
〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 専門領域でよく使われる病名や症状に加え、検査や処置に必要な英語表現を学習し、それらを実際に使えるように練習するとともに、日本と諸外国の医療制度の違いなどにも触れる。単に英語を覚えるだけでなく、学生がより広い視野を持って将来、現場に携われるようになることを目標とする。				
〔授業の概要〕 毎回のユニットで取り上げる医療分野でよく使われる英語表現を理解できるよう、語彙・発音・文法などを学ぶ。また、理解できるだけでなく実際に使用できるようにするため、リスニング問題・ペアーワークなどを通し繰り返し練習する。毎回の授業で学ぶ英語表現を確実なものにするため、自己学習課題も提供し、翌週の授業の初めに復習テストを行う。また、論文などを読むための基礎力をつける。 キーワード：英語での病名・症状、病院内の英語、略語（AED など）の理解				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	4/ 8	授業ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項など	
第 2 回	4/15	Unit 1	Body Parts	
第 3 回	4/22	Unit 2	Musculoskeletal System	
第 4 回	5/13	Unit 3:	Cardiovascular System	
第 5 回	5/20	Unit 4	Respiratory System	
第 6 回	5/27	Unit 5	Digestive System	
第 7 回	6/ 3	Unit 6	Brain, Nervous System and Sensory System	
第 8 回	6/10	Unit 7	Urinary System	
第 9 回	6/17	Unit 8	Reproductive System	
第 1 0 回	6/24	Unit 9	Endocrine System	
第 1 1 回	7/ 1	Unit 10	BLS and ALS	
第 1 2 回	7/ 8	Unit 11	Rehabilitation	
第 1 3 回	7/22	Unit 12:	Diet and Nutrition	
第 1 4 回	7/29	復習	授業全体を通したまとめ	
第 1 5 回	7/30	復習	"	
履修条件	特になし			
予習・復習	覚えておくべき医療関係語彙が多いため、毎回の復習で語彙量増加が必須			
テキスト	English for Healthcare Professionals Because We Care” By Maki Inoue & Tadashi Ihara, CENGAGE Learning			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業内態度 2 0 % 小テスト 2 0 %、定期試験 6 0 %			

授業 科目名	英語（応用英語） English VI (Applied English)	履修年次:選択:	1 単位 30 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		全学科 1~4 年	コード: LAD201	
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 実社会で使用するための英語能力向上を目的に, TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する。 1) 社会人向け, 一般の英語アナウンスを聞いて, 概略をつかむことができる。 2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り, 大意を理解することができる。 3) 社会人として職場, 実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる。				
〔授業の概要〕 授業では, TOEIC Listening テキストを用いて, ナチュラルなスピードの英語に慣れ, 実社会で使われる英語表現や語彙を学ぶ。テキストの解説により理解を深めたのち, Teams 音読の練習などの授業課題により, 知識の定着・自動化をはかる。				
キーワード: 英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第 1 回	10/ 1	Course Introduction	授業と TOEIC の概要説明、英語テスト	
第 2 回	10/ 8	Units 1 & 2	写真描写問題, ディクテーション	
第 3 回	10/22	Units 3 & 4	応答問題, WH 疑問文, シャドーイング	
第 4 回	10/29	Mini Test 1	TOEIC Listening & Reading Test について	
第 5 回	11/ 5	Units 5 & 10	Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ	
第 6 回	11/12	Unit 6 & 11	提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測する	
第 7 回	11/19	Unit 12 & 13	キーワードから推測する, 発言の意図や示唆をくみ取る	
第 8 回	11/26	Units 7 & 16	付加疑問文, トークの概要をつかむ	
第 9 回	12/ 3	Mini Test 2	ディクテーション, シャドーイング練習	
第 10 回	12/10	Units 8 & 17	否定疑問文, トークの詳細をつかむ	
第 11 回	12/17	Units 9 & 14	平叙文, 3 人の会話を聞き取る	
第 12 回	1/ 7	Mini Tests 3 & 4	ディクテーション, シャドーイング練習	
第 13 回	1/14	Units 15 & 18	図表と関連付けて聞く, トークの展開を予測する	
第 14 回	1/21	Units 19 & 20	話者の発言をくみ取る, 図表と関連付けて聞く	
第 15 回	1/28	まとめ	総復習	
履修条件	なし			
予習・復習	予習: CD 聞き込み・解説 復習: Teams 音読の練習・シャドーイング			
テキスト	『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編』国際ビジネスコミュニケーション協会 3,300 円 (税込)			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業課題 (Teams 課題, 提出物など) 60%, 最終テスト 40%			

授業 科目名	英語VII (上級英語) A English VII (Advanced English) A	履修年次:	1 単位 15 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		選択: 全学科 2~4 年	コード: LAD203	
〔DP〕IIコミュニケーション能力, III 実践に必要な知識, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療分野の講義・プレゼンテーションを聞いて、概略を理解できる。</li> <li>・保健医療従事者として役に立つ英語情報を得る。英語を介して、情報を集めることができる。</li> <li>・簡潔で明瞭な英語を用いて、保健医療職についてのプレゼンテーションを行う。</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
保健医療現場での英語コミュニケーション力向上を目指して、以下を行う。				
1) 保健医療分野の英語のレクチャーやプレゼンテーション動画を聞き取る。				
2) 保健医療分野の専門英語・専門表現を学習する。				
最終プロジェクトとして、視聴した英語レクチャー等の語彙・表現を使って、保健医療職についての英文原稿を書き、プレゼンテーション動画を作成する。簡潔で分かりやすい英語を目指す。授業時間内で発表原稿の加筆修正、発音確認などの準備を少しずつ進めて完成させる。				
キーワード: 保健医療、英語、ヘルス・リテラシー、English for Specific Purposes				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/4	ガイダンス	保健医療分野の英語情報について、授業概要	
第2回	10/11	身体・疾病について 保健医療職について	Health and Illness Healthcare Professionals	
第3回	10/18	栄養と運動について	Nutrition and Exercise	
第4回	10/25	歯・口腔の健康について	Teeth and Oral Hygiene	
第5回	11/1	リハビリテーションについて	Rehabilitation	
第6回	11/8	保健医療職について(1)	Healthcare Professionals	
第7回	11/15	保健医療職について(2)	Healthcare Professionals	
第8回	11/22	まとめ	Presentation 最終プロジェクト	
履修条件	「英語I、II、III、IV、またはVI」の選択2単位を修得済みであること。			
予習・復習	保健医療分野のMOOCまたはYouTubeの動画を見て、語彙・表現を学習する			
テキスト	指定しない、必要なレジュメを用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業参加度(15%)、授業内課題・Teams課題(30%)、最終プロジェクト(55%)を総合的に評価する。期末試験は行わない。			

授業 科目名	英語VII (上級英語) B English VII (Advanced English) A	履修年次:	1 単位 15 時間	担当教員名: 神田 みなみ (研究室 図書館棟 5)
		選択: 全学科 2~4 年	コード: LAD204	
〔DP〕IIコミュニケーション能力, III 実践に必要な知識, VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療分野の英語資料を読んで、概略を理解できる。</li> <li>・保健医療従事者として役に立つ英語情報を得る。英語を介して、情報を集めることができる。</li> <li>・各自が専攻する保健医療職についての英語情報の内容を簡潔に日本語でまとめることができる。</li> </ul>				
〔授業の概要〕				
保健医療現場での英語コミュニケーション、英語による専門分野の情報収集をめざし学習を行う。学生各自の専攻分野や関心に応じて、実際にその英語知識を活用するアクティビティや課題を行う。				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 米国 CDC、英国 NHS など英語による医療・健康情報を読む。</li> <li>2) 保健医療分野の専門英語・専門表現を学習する。</li> <li>3) 英語読み取りで使えるオンラインアプリの活用方法を学ぶ。(翻訳、英文読み上げなど)</li> </ol>				
キーワード: 保健医療、英語、ヘルス・リテラシー、English for Specific Purposes				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	
第1回	11/22	ガイダンス	保健医療分野の英語情報について、授業概要	
第2回	11/29	身体・疾病について 保健医療職について	Health and Illness Healthcare Professionals	
第3回	12/6	栄養と運動について	Nutrition and Exercise	
第4回	12/13	歯・口腔の健康について	Teeth and Oral Hygiene, 第1回レポート提出	
第5回	12/20	リハビリテーションについて	Rehabilitation,	
第6回	1/10	保健医療職について(1)	Healthcare Professionals	
第7回	1/24	保健医療職について(2)	Healthcare Professionals	
第8回	1/31	まとめ	保健医療分野の英語情報, 第2回レポート提出	
履修条件	「英語I、II、III、IV、またはVI」の選択2単位を修得済みであること。			
予習・復習	保健医療分野の語彙・表現を学習する。			
テキスト	指定しない、必要なレジユメを用意する。			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	授業参加度(15%) 授業内課題・Teams 課題(30%) レポート2回(55%)を総合的に評価する。期末試験は行わない。			